

指導農業士、農業士会の活動支援

～担い手育成マインドを熟成！～

活動年次：令和元年度～5年度

石狩農業改良普及センター石狩北部支所

1 課題設定の背景 *****

対象：石狩北部指導農業士・農業士会（指導農業士31名・農業士54名）

新規指導農業士・農業士における担い手育成の危機！

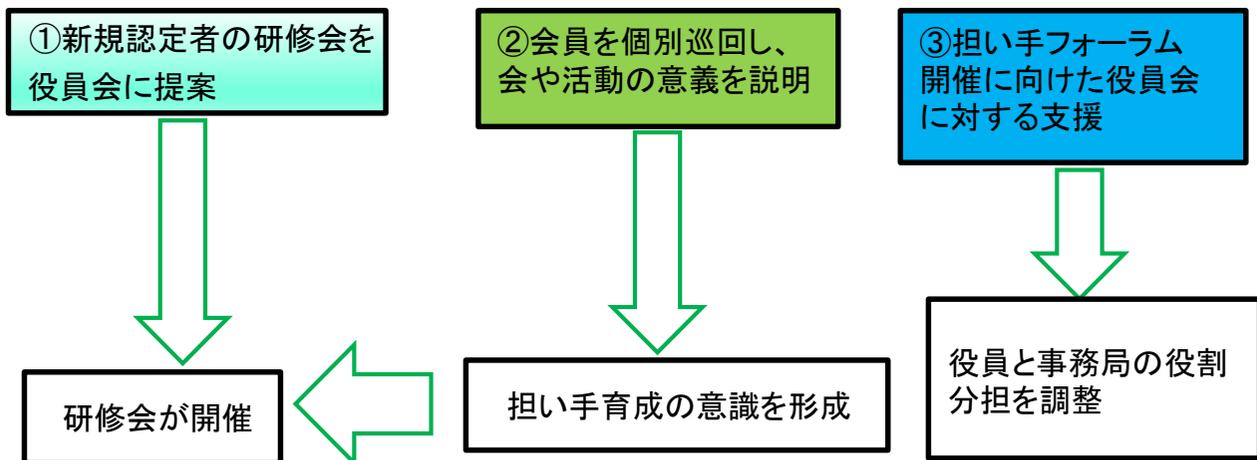
現 ①コロナ禍により新人に指導農業士の意義、役割を伝える場が激減！
 ②令和に入って指導農業士・農業士の活動の場が激減！
 ③指導農業士、農業士のなり手がいない！

状

課 ①担い手育成の意識形成の向上
 ②会員同士のコミュニケーションや活躍の機会の創出
題 ③地域の人材の発掘

2 活動の経過 *****

研修会と巡回により担い手育成の意識形成を推進！



指導農業士・農業士が担い手育成への理解を深めた！

①新規認定者の研修会を開催（写真1、2）

- ・ 会員に担い手育成の大切さを知ってもらうため、夏の研修会を開催できた。研修会には、新規認定者から4人（指導農業士1人、農業士3人）が参加。会員同士のコミュニケーションが図られ、新役員は担い手育成への決意を固めた。
- ・ 個別巡回で会の事業内容を説明、札幌市の新規認定者からは「近くのを誘って行事に参加したい」という発言があった。
- ・ 研修会の開催には石狩市担い手センターから積極的な後方支援が得られた。

②担い手フォーラムの開催（写真3、4）

- ・ 3年ぶりの開催で総勢25名が出席。次世代の担い手である地域の青年グループがプロジェクト発表で参加し、指導農業士、農業士との交流が図られた。
- ・ ベテラン指導農業士の講演により、新規会員の担い手育成の意識が形成された。

こういう支援体制が自分の地元にも必要だ（I氏）！



写真1 夏の研修会視察：K宅

小さな体で凄いパワー（K氏）！



写真2 夏の研修会視察：H宅



写真3 S指導農業士のメラル夫人によるフォーラム講演会



写真4 フォーラムにて青年G発表の様子

4 今後の活動 *****

- ・ 会員間に仕事の繁閑で違いがあり行事の参加者が低迷：各自の繁閑を可視化し、行事の日時、場所等を参加しやすい様に工夫
- ・ 地区毎で活動に対して温度差：新役員を核に活動を支援
- ・ 人材の発掘：地域毎に指導農業士・農業士候補者をリスト化

